



RIMIXグローバルチャレンジ 2021

ガイドブック
応募前に読もう！



■課題A 「難民問題」

- P.4 数字で見る難民問題
- P.5 シリア内戦の影響
- P.6 難民 x 障がい
- P.7 難民支援の現場でスポーツがもつ「チカラ」
- P.8 難民パラアスリートが直面している課題（競技に必要な基本的物資）
- P.9 難民パラアスリートが直面している課題（トレーニングに必要な環境）
- P.10 難民パラアスリートが直面している課題（その他）
- P.11 難民選手団の設立～2016年リオデジャネイロ五輪～
- P.12 TOKYO2020パラリンピックに出場する6人の難民パラアスリート
- P.13 パラ難民アスリート参考リンク

■課題B 「食糧問題」

- P.15 ルワンダってどんな国？
- P.16 ルワンダの貧困・食糧問題
- P.17 貧困の連鎖
- P.18 数字で見る収穫後損失
- P.19 収穫後損失の原因
- P.20 小規模農家の1日～収穫から腐敗まで～
- P.21 野菜やフルーツの加工
- P.22 売れ残り x 家庭での消費
- P.23 レストラン事情
- P.24 ルワンダ／食糧問題参考リンク



課題A

【難民問題】

「障がいを抱えた難民パラアスリートをサポートするアイデア」

数字で見る難民問題

第二次世界大戦以降
最多
9年連続の増加



世界で故郷を追われた人：8,240万人

2020年末時点で、紛争や迫害、暴力、人権侵害、公共の秩序を著しく乱す事象により、強制移動に直面した人の数

難民：2,640万人

国内避難民：4,800万人

庇護希望者：410万人

その他：390万人

難民の出身国

シリア		670万人
ベネズエラ		400万人
アフガニスタン		260万人
南スーダン		220万人

難民の受け入れ国

トルコ		370万人
コロンビア		170万人
パキスタン・ウガンダ		140万人
ドイツ		120万人



シリア内戦の影響

シリアの人口の7割が家を追われています。



病気・栄養不良

テントや廃墟での避難生活を余儀なくされ、衛生環境の悪さから感染症にかかりやすい状況にあります。避難民居住地では石けん・消毒液の不足率は73%。こまめな手洗いも簡単ではありません。



教育機会の損失

街や学校が破壊され、避難先からは通える学校がない、収入が乏しく教育に回す余裕がない等の理由で、学校に行けない子どもたちがいます。シリア国内の子どもの2/3 (240万人) が学校に通っていません。



児童労働・児童婚・搾取

児童労働や、幼いうちに結婚させる等のケースが増えています。避難民居住地での平均的な世帯収入は、1カ月約6700円で、子どもたちへの搾取には、避難民世帯が収入を得る機会が乏しく、経済的な困窮が一因になっています。



難民 x 障がい

故郷を追われた8200万人のうち、約1200万人が障がいを負った

紛争等の影響で身体に障がいを負った人の数

- シリア：約150万人
- 南スーダン：約24万人
- アフガニスタン：推定数百万人

身体障がいの代表例

切断された手足、視覚障がい、聴覚障がい、臓器障がい

その他障がい

うつ病、PTSD



障がいを負った難民の人が直面する課題

- 十分な治療、リハビリケアを受けられない
- 教育を受けにくくなる（学校に行く手段が限られる、学校側が受け入れ拒否をする、恥ずかしさ等から家族が学校に通わせない）
- 差別の対象になる（特に女子、女性の場合）
- 長距離移動ができない（特に地方で暮らしている場合）
- 就職先を見つけにくい
- 国民ID（マイナンバーのようなもの）の取得が難しい





難民支援の現場でスポーツがもつ「チカラ」

スポーツの場が、保護を必要とする難民の「安全な場所」となる

→虐待、誘拐、人身取引、子供兵としての徴兵、早婚、児童労働等の暴力から守られる

スポーツが共通言語となる

→避難先の言語が話せない、難民キャンプ内でも民族間で異なる言語が飛び交う中で、スポーツが共通言語となる

難民と受け入れコミュニティ（受け入れ国）との関係構築に貢献する

→受け入れコミュニティによる難民への差別、いじめ、暴力等を緩和し、平和な共生に繋がる

健全なストレス発散の場となる

→様々な制限の中での暮らしを強いられている難民の人々にとって健全なストレス発散の場となり、自傷行為、飲酒、うつ病、ギャングへの加入等の予防となる

生きる原動力となる

→家族や故郷を失った多くの難民の人々にとって、スポーツが新たな生きる原動力となり自信や生き抜くチカラにつながる



しかし、食糧支援や教育支援などの支援が優先されるため
スポーツ等のレクリエーション支援は後回しで、不十分

写真：ワールド・ビジョン



難民パラアスリートが直面している課題

たださえ難民へのスポーツ支援が不十分な中、
障がいを抱えた難民へのスポーツ支援は、忘れられているに等しい

競技に必要な基本的物資	現状
競技用車いす	他のチーム、選手の車いすを借りることが多い。
義足、義手等の義肢装具	必要な治療が受けられず、自分に合わないものを使用するケースも。
ボールやラケット等、必要な用具	不足、支援してくれる団体もない。
ウェアなど	自前だが経済的に余裕がないため、穴が開いたウェアなどを着用し続けるケースも。国際試合などの時はIPCが提供することもある。



スポーツ車いす (約40万円)



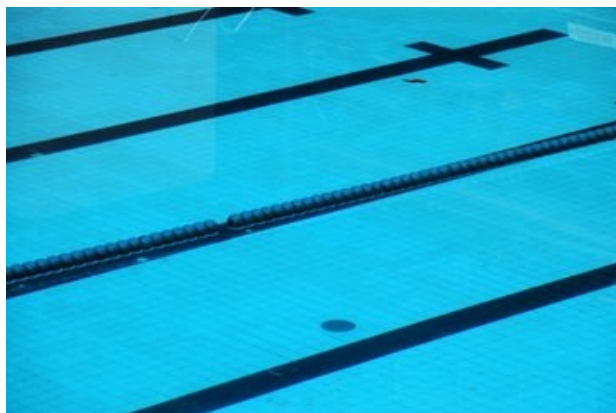
スポーツ用義足 (約100万円)





難民パラアスリートが直面している課題

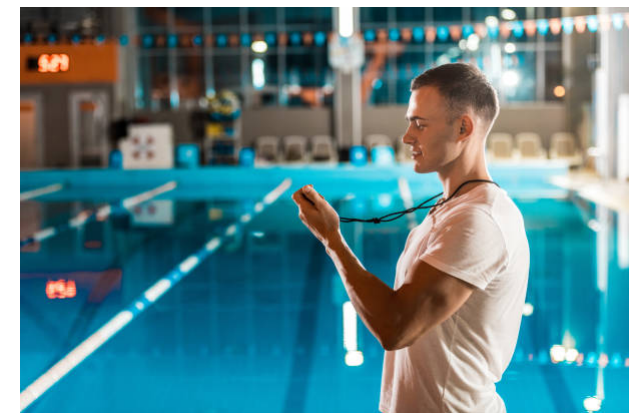
トレーニングに必要な環境	現状
トレーニング会場（プール、陸上トラック等）	選手によって事情は様々だが、練習会場を見つけるのが難しかったり、生活が苦しくスポーツをする余裕がないことも多い。
かつてのチームメイトや競技仲間	各国にバラバラに。ビザの問題もあり対面できるのは稀。
トレーナー、ドクター等のメディカルスタッフ	イブラヒム選手の場合はギリシャ代表チーム指導経験もあるコーチがボランティアで対応。良き指導者がいない場合も。
練習試合の対戦相手	組織だっていないため、練習試合の機会は少ない。



「毎日トレーニングしたいけど、生活が苦しくてその余裕がない」



「みんなどこにいる？また一緒にプレーしたい」



「良い指導者と巡り合えない」



難民パラアスリートが直面している課題

その他	現状
活動資金	国際試合への参加は通常IPCが支援。在住国のNPCが支援する場合も。 (オリンピックの場合はIOCから奨学金を得ている選手が多い)
海外の国際大会等に出場する際のビザ取得	IPCから各国へ働きかけるが、難民であるという事情ゆえに、ビザが直前までおりないケースがあり、試合に向けた調整が難しいことも。
試合での判定などへの抗議など	通常はその国の競技連盟から行うが、そうした所属団体がないので、抗議はほぼできない状況。





難民選手団の設立 ～2016年リオデジャネイロ五輪～

設立の背景 ～IOC「難民たちの希望の象徴に」～

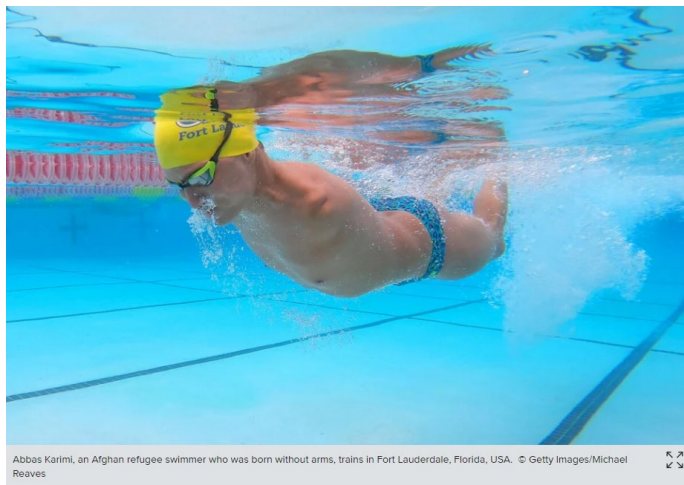
難民問題がこれまでになく深刻な状況となっている現状を踏まえ、2016年リオデジャネイロ五輪に、10名から成る「難民選手団」が特別参加することを国際オリンピック委員会（IOC）が発表。31回を数える夏季五輪の歴史上、難民の選手団が結成されるのは初めてのことでした。

「五輪でこの10人のアスリートが活躍する事が、
世界中に住む難民たちの希望となり、
世界中の人々が難民の問題に関心を寄せることを期待する」
(IOC)





TOKYO2020パラリンピックに出場する6人の難民パラアスリート



1. イブラヒム・アル・フセイン

シリア難民、ギリシャ在住 競技：パラ水泳

2. アリア・イッサ

シリア難民、ギリシャ在住 競技：パラ陸上（クラブ投げ）

3. パルフェ・ハキジマナ

ブルンジ難民、マハマ難民キャンプ（ルワンダ）在住 競技：パラテコンドー

4. アバス・カリミ

アフガン難民、アメリカ在住 競技：パラ水泳

5. アナス・アル・カリファ

シリア難民、ドイツ在住 競技：パラカヌー

6. シャハラッド・ナサジプール

イラン難民、アメリカ在住 競技：パラ陸上（円盤投げ）





パラ難民アスリート参考リンク

<推奨動画>パラリンピック難民選手団発表 6人の難民アスリートが東京へ

<https://www.youtube.com/watch?v=92c02tU7-Mc>

<動画：英語のみ> The Journey – by UNHCR, the UN Refugee Agency in partnership with the IOC and IPC

<https://youtu.be/KMNrLacVJwk>

オリンピック 母国逃れた難民選手団の選手らも競技開始

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210724/k10013157941000.html>

UNHCR高等弁務官 難民選手団の五輪出場「世界の人々に勇気」

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210725/k10013159151000.html>

難民選手団による東京2020大会事前キャンプ（早稲田大学オリンピック・パラリンピック事業推進室）

<https://www.waseda.jp/inst/tokyo/archive/refugee/>

シリア内戦で脚切断のフセイン選手 難民初の「金」に挑む

<https://static.tokyo-np.co.jp/tokyo-np/archives/hold/2016/rio2016/paralympic/news/CK2016090802100025.html>

リオパラリンピックで、避難しているアスリートが歴史的なデビューを飾る

<https://www.japanforunhcr.org/news/2016/9876>

難民選手団 イブラヒム・フセイン スポーツで絶望を乗り越える

https://sports.nhk.or.jp/paralympic/video/e7b3fe828d1f44e98dd1951a6fbf949d/?fbclid=IwAR312lvuDYBfolsdo08gTRuvcifM_KkP8ERBjsidggnZnpkVZQKycbnvaRM

<動画> The Olympic Refugee Foundation in 10 minutes (英語)

https://www.youtube.com/watch?v=oLKUkZA2a_Q



課題A

【食糧問題】

「ルワンダで収穫した野菜やフルーツが無駄にならないためのアイデア」

ルワンダってどんな国？



正式名：ルワンダ共和国

首都：キガリ

人口：1263万人（2019年時点）

面積：2.63万km²（関西地方と同じぐらい）

気候：平均気温24°（最低気温7°、最高気温30° 年中、夏の軽井沢のような感じ。乾季と雨季が2回ずつある）

言語：ルワンダ語、英語（2009年、公用語に追加）、フランス語、スワヒリ語

宗教：キリスト教（90%）、イスラム教（10%未満）、その他

観光名物：マウンテンゴリラ、コーヒー、紅茶、イミゴンゴ、アガセケ



ルワンダの貧困・食糧問題

国際貧困ライン（1日1.9ドル以下で暮らす人）は人口の約55%

飢餓状態にある人は人口の約35%

その多く（人口の60-70%）は 農業従事者

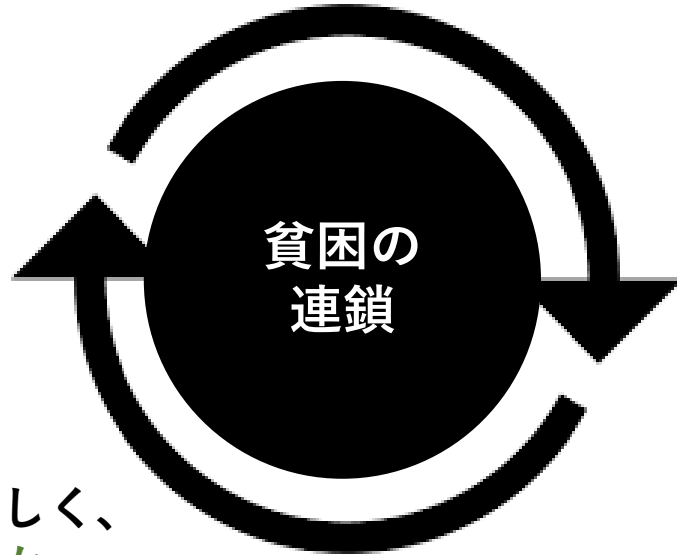
	ルワンダ	日本
5歳未満児死亡率（1000人あたり）	35人	2人
出生時の平均余命	69年	84年
安全な水を利用できる比率	58%	99%
家庭用トイレを利用できる比率	67%	100%
初等学校の最終学年まで在学する率	女の子 61% 男の子 48%	—
15~24歳の識字率	女性 86% 男性 84%	—
15~19歳の女の子の出産率 （1000人あたり）	41人	4人



貧困の連鎖

貧しい小規模農家

収入が少なく、
安定しない



お金がないので、
収穫した作物を冷蔵
保存できない

市場での競争は激しく、
売れない。売れなかつ
た作物は破棄する

↑
収穫後損失
Post Harvest Loss

保存できないので、そ
の日のうちに売らなけ
ればいけない

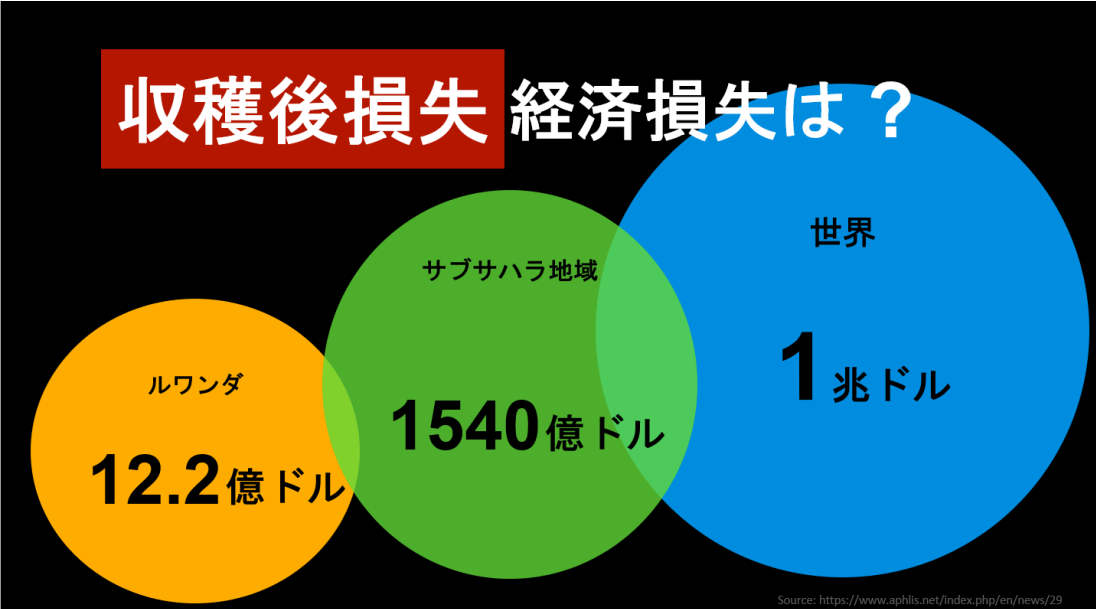


写真：World Vision

数字で見る収穫後損失

ルワンダ統計

・ 野菜	45%
・ 果物	40%
・ トウモロコシ	26%
・ 豆	15%



収穫後損失の原因

圧倒的な電力へのアクセス不足

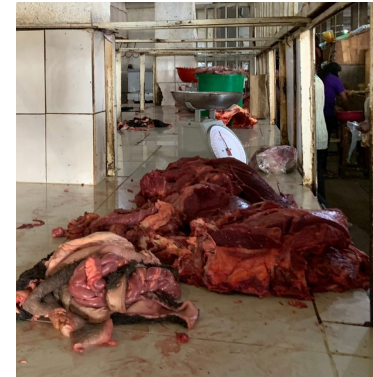
電力へのアクセスがあるのは人口の**約63%**
電線網が国中に張り巡らされていないのが一番の原因。



データ出典：Rwanda Energy Group (REG)

電力不足による食物の腐敗

肉



トマト



写真：Agristudent.com

キャベツ



写真：Harriet Kariuki



小規模農家の1日 ～収穫から腐敗まで～

冷蔵保存できないので朝や夕方
の涼しい時間（例）朝4～5時）
にできるだけ多く収穫。



一気に市場へ運ぶ
・自分で徒歩か自転車で運ぶ
・業者に集荷してもらう



急いで、できるだけたくさん
の収穫物を市場に運ぼうとする
ので、箱詰めが雑になる



1つ潰れる（腐る）→他も腐
り始める



腐敗したり、形状が崩れたものは破棄。農場の隅に放置するかゴ
ミセンターに持っていく



腐る／形状が崩れる一歩手前の
予備軍をめちゃくちゃ安く売る
（貧困層はこの予備軍を買う）



★改善ポイント
腐る前に加工等し
てお金に変えられ
ないか？

日差しの強い市場では、日陰
等で保管しないとすぐ腐る



★改善ポイント

お金のかからない工夫
で、潰れない箱詰めが
できないか？

野菜やフルーツの加工

ルワンダで加工が一般的になっているもの：乳製品くらい。

果物を加工し、果物ジュースを生産する加工は少しずつ増えてきているものの、まだ一般的ではなく、インフラも整っていない。
加工品の多くは、隣国やヨーロッパ、中東などからの輸入品が多い。

また、加工するとしても、仲介業者が作物を買い取り、加工業者や輸出業者に売るので小規模農家が加工業者にアクセスすることは極めて稀。

小規模農家で、お金がなくても、ちょっとした工夫で、腐敗する前に加工できないか？

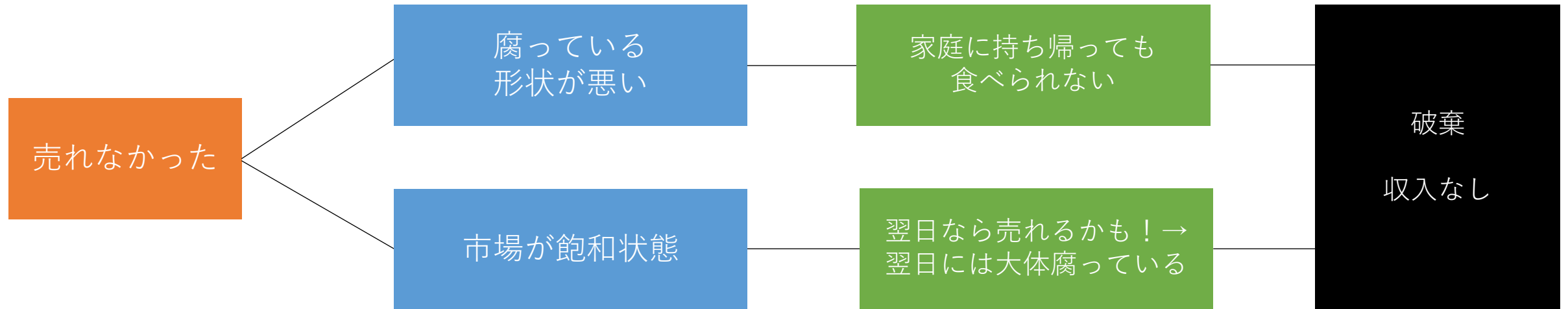


マンゴー：野菜同様、レストランが提供するマンゴージュースは輸入品が中心。



バナナ：食用バナナを油で揚げるとバナナチップス風になるが、時間が経つとシナシナになって不味くなる

売れ残り x 家庭での消費



写真：World Vision

売るための農作物なので、
売れ残った分を家庭で消費しようと思わない。

どんなに安くても、お金に変えたい！

レストラン事情

外国人向け高級レストラン



ウガンダやケニア、タンザニア等から輸入された食材を使う

良質で安定した生産量が必要。
冷蔵保存方法が一般的になっていなく、20-60%が破棄になっているため、国産食材では「質」と「量」の両方を確保するのが難しい。

ローカル屋台など



市場で売られている食材を使う

知り合いや友人農家と契約している場合が多い



ルワンダ / 食糧問題参考リンク

Kivu Cold Group

<https://kivucold.group/jp>

ルワンダで収穫後損失を減らすための技術が新たに導入

<https://www-overseas-news.jsps.go.jp/%E3%80%90%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%83%AB%E3%83%AF%E3%83%B3%E3%83%80%E3%80%91%E3%83%AB%E3%83%AF%E3%83%B3%E3%83%80%E3%81%A7%E5%8F%8E%E7%A9%AB%E5%BE%8C%E6%90%8D%E5%A4%B1%E3%82%92/>

アフリカの食糧増産 Feed Africa アフリカにおける農業変革の道のり

https://afdb-org.jp/wp-content/uploads/2018/04/Feed-Africa_JP.pdf

食料の損失・廃棄の削減が、食料安全保障と環境保護に大きく貢献する可能性

<https://www.worldbank.org/ja/news/press-release/2020/09/28/cutting-food-loss-and-waste-can-deliver-big-wins-for-countries-food-security-and-environment>

受験対策の次は農業教育！IT立国ルワンダで挑む新たな挑戦とは！？

<https://eedu.jp/blog/2014/07/21/dragon-rwanda-50/>

主食の種類が豊富なルワンダの食事情とおすすめルワンダ料理3選

<https://www.sekaiwoman.com/column/20210526>

世界の食料ロスと食料廃棄

<http://www.fao.org/3/i2697o/i2697o.pdf>

ルワンダの現場で～JICA専門家としての取り組み～

<https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/chiba/photo/attach/pdf/index-1.pdf>